

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 13-6
評価実施期間：平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 10 日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060881 050212 060792 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成 26 年 12 月現在）

事業所名：特別養護老人ホーム うつくしの里 （施設名）	種別：介護老人福祉施設 併設 短期入所生活介護
代表者氏名：理事長 大槻 憲雄 （管理者氏名）施設長 小岩井 一博	定員（利用人数）：53 名 短期入所生活介護 13 名
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設年月日：平成 7 年 4 月 1 日
所在地：〒390-0221 長野県松本市大字里山辺字藤井 910 番地 1	
電話番号：0263-39-2277	FAX 番号：0263-39-2278
ホームページアドレス：www.ja-naganokai.or.jp/facilities/ringo/	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

【概況】

特別養護老人ホームうつくしの里（現在の定員 53 人・短期入所 13 人）は、平成 7 年に地域の要望に応じて、地域の老人福祉の総合的な機能発揮と豊かな地域づくりに貢献するために松本市里山辺に開設された。平成 12 年にデイサービスセンター（現在の定員・一般型 35 人、認知症専門型 10 人）、ホームヘルプステーション、居宅介護支援事業所を、平成 14 年に市街地の蟻ヶ崎地区に松本市蟻ヶ崎デイサービスセンター（現在の定員 30 人）を開設し、現在に至っている。美ヶ原温泉郷に位置し、単純泉の天然温泉浴が利用者に好評であり、北アルプスを一望できる食堂があり、ゆったりと穏やかな笑顔が生まれ、恵まれた環境にある。20 年近い歴史を持ち、その存在が地域に充分浸透しており、地域と共にある暮らし作りをしている。理学療法士や歯科衛生士の専門職の配置、充実した研修体制などサービスの質の向上や職員の資質向上に力を注いでいる。

特に良いと思う点

1 <食事について>

高齢者にとって「食べること」は楽しみや生きがいの上から重要であり、利用者の楽しいことの第 1 位は食事と伺っている。施設では栄養科を設置して利用者が明るく健康で楽しい生活が送れるよう支援に努めている。利用者や家族の意向をもとに、摂取状況に合わせた栄養ケア計画を作成して利用者参加の食事委員会を月 1 回、嗜好調査を年 1 回実施することで、ニーズや改善点を把握し、日々の食事に反映させている。食事形態の見直しや検討に努め、利用者一人ひとりに合った食事形態で食事が提供されており、介護士、看護師が利用者と一緒に積極的にコミュニケーションを図り、見守りや支援のもと安心・安全な食事につながるよう努めている。年間行事食計画（お花見、敬老の日、お彼岸、冬至など）を作成し利用者の食の満足に心配りをされている。

2 <看護・介護の連携>

当施設では、介護と看護の連携が十分にとれている。というよりはむしろケアという形で介護と看護がうまく統合され機能しているかのようである。かといって、それぞれの職種が全く同じ仕事をしているのではなく、お互いの役割分担を理解して各々のすべきことをしているとの印象であ

る。また当施設におけるケア体制での特徴的な取り組みは、利用者のなじみの関係づくりである。エリアごとになじみの情報ファイルを作成してそれに基づくケアが展開されている。

3 <職員配置のあり方>

看護師や介護福祉士、介護支援専門員、管理栄養士などの有資格者の配置、理学療法士や歯科衛生士、社会福祉士などの専門職の配置など豊富な人材により多様化、個別化する利用者の介護に対応できる環境を整えている。機能訓練、口腔機能維持・向上、褥瘡予防と発生時の対応、看取り介護のあり方など、利用者の尊厳と笑顔のある暮らしを守るため、質の高いサービスを提供できる人材育成（多くの研修の機会・資格取得への奨励など）に力を注ぎ、同時に、やさしい介護や充実した福利厚生など働きやすい職場づくりにも配慮している。職員配置計画や資格取得情報は、組織が職員に求める基本姿勢であり、希望を取り入れ、スキルに応じた職員一人ひとりの研修計画や力量評価の取組は職員自らがステップアップしながら資質を向上させ、施設へ貢献することとなっている。職員配置のあり方は、施設と職員に相乗効果をもたらし、利用者サービスの質の向上へと繋がっている。

特に改善する必要があると思う点

1 <中・長期計画の策定>

具体的な中・長期計画が策定されていない。社会福祉の動向は急激に進む認知症者の増加、一人暮らしや高齢者世帯の増加、家庭介護力の低下、在宅で暮らし続けたいという住民の思い、介護保険法の改正など大きく変化しつつあるので、地域包括ケアシステムによるネットワークの支えが必要になっている。中・長期計画は揺れ動く時代の中で如何に対応するかを明示するものであり、利用者や家族、地域、職員にとっても重大な関心事である。人員体制、設備整備、組織体制、収支のバランス、20年の経過による各所の修繕による費用の確保などの中・長期的展望に立った計画を策定することにより、関係者の安心や信頼を得ることは施設の使命と思われる。関係機関等よりの情報の把握や改善すべき課題も把握できる体制になっているので、十分な検討の下に中・長期計画を策定されることを期待したい。

2 <マニュアルの整備>

当施設は、過去に ISO 認証を受けるなど施設サービスの質を確保するための努力を継続してきた。一方で介護現場において ISO 基準に従って作成されたマニュアルは現場での使い勝手が悪いという問題も生じさせていた。現在この問題点の見直しに着手しているが、その作業を早急に進めることが望まれる。

4 事業評価の結果と講評
共通項目（別添１）
内容評価項目（別添２）

5 利用者調査の結果
聞き取り方式の場合（別添３ - ２）

6 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（平成 27 年 3 月 11 日記載）

今年度は、うつくしの里が平成 7 年 4 月に開設してから 20 年を迎える節目の年となります。私達職員一同、今一度原点に立ち返り「うつくしの里の理念」に沿った施設運営に努めております。そのような折、第三者評価を受け客観的な観点から再評価されることにより、自分達では気付かなかった課題や改善点を再確認することができました。

今回、良い評価結果を頂きましたが、職員が日頃積み重ねてきた努力が形になって現れたという思いで大変励みとなりました。この結果に慢心することなく今後、更にサービスの質の向上を図ると共に事業所の情報を公表することにより「利用者本位の福祉サービスの提供」に努めて参ります。

この度、第三者評価を受けるに当たり、株式会社マスネットワークのスタッフの皆様には、現状に即した的確な評価をして頂きました事に感謝申し上げます。又、ご指摘頂いた事項についても真摯に受け止め、今後の事業運営にしっかり反映することで地域に貢献できる施設を目指して参ります。